

個別支援計画書

事業所名: ○×こどもデイ

サービス: 児童発達支援・放課後等デイサービス

事業所番号: 1300000000

作成日: 令和8年4月1日

児童氏名	山田 太郎 (やまだ たろう) 男	生年月日	令和2年5月14日(6歳)
受給者証番号	0000000000	障害種別	自閉スペクトラム症
保護者	山田 花子(母)	計画期間	令和8年4月 ~ 令和8年9月

本人の意向	お友だちといっしょに遊んだり、できることを増やしたい。ことばで気持ちを伝えられるようになりたい。
家族の意向	集団の中で落ち着いて過ごせるようになってほしい。身辺自立(着替え・排泄)を少しずつ進め、就学に向けて生活リズムを整えたい。
総合的な支援方針	安心できる環境の中で成功体験を積み重ね、本児の「できた」を尊重しながら自己肯定感を育てる。視覚的支援とスモールステップを基本とし、感覚面の特性に配慮した活動を通じて、対人関係・コミュニケーション・身辺自立の土台を就学までに整える。家庭と支援内容を共有し、一貫した関わりを行う。

長期目標	～R8.9 見通しを持って集団活動に参加し、ことばや絵カードで自分の気持ちや要求を相手に伝えられる。基本的な身辺自立(着替え・排泄・手洗い)が概ね自立する。
短期目標	～R8.6 一日の流れをスケジュール表で確認し、活動の切り替えを大きな崩れなく行える。簡単な二語文や絵カードで「かして」「てつだって」を職員に伝えられる。

支援領域別の目標と支援内容

領域	具体的な目標	支援内容	担当	提供期間
健康・生活	着替え・手洗い・排泄など身辺自立に取り組み、一日の生活リズムを整える。	手順を絵カードで提示し、できた部分を具体的に褒める。トイレは時間を決めて声かけし、成功体験を積む。	田中 美咲(児童指導員)	R8.4～R8.9
運動・感覚	粗大運動・微細運動を楽しみ、感覚過敏に配慮しながら身体の使い方を広げる。	サーキット遊び・トランポリンで身体イメージを育てる。苦手な感覚刺激は段階的に提示し、無理のない範囲で慣れていく。	中村 あゆみ(機能訓練担当)	R8.4～R8.9
認知・行動	一日の流れに見通しを持ち、活動の切り替えを大きな崩れなく行える。	視覚的スケジュールとタイマーで終わり・始まりを明確にする。切り替え前に予告し、できたら称賛する。	鈴木 健太(児発管)	R8.4～R8.9
言語・コミュニケーション	二語文や絵カードで「かして」「てつだって」など要求や気持ちを相手に伝えられる。	要求場面で言葉のモデルを示し、絵カード(PECS)を併用。伝わった経験を増やし発信意欲を育てる。	渡辺 さくら(児童指導員)	R8.4～R8.9
人間関係・社会性	友だちとルールのある遊びに参加し、順番を待つ・交代するなどのやりとりを経験する。	少人数の集団遊びを設定し、職員が間に入ってやりとりを橋渡しする。順番・交代の場面を意図的に作る。	田中 美咲(児童指導員)	R8.4～R8.9

児童発達支援管理責任者 鈴木 健太

印

上記の個別支援計画について、内容の説明を受け、同意します。

同意日: 令和8年4月1日

保護者署名: 山田 花子

印